

## 式 辞

春うらかな今日、ここに卒業生、そして保護者の皆様とともに、平成から令和に変わり初めての記念すべき卒業式を開催できますことを、心からうれしく思います。

この度の新型コロナウイルス感染症拡大の緊急事態は、予測もできない事態でありました。

次々に更新される情報や要請に、様々なことを感じ、今できることは何かを考え対応してきましたが、やはり大切なことは、「冷静に真実を探し、今自分ができることに対して前向きになる姿勢」であるということだと思えます。

皆さんはどうでしょう。

ぜひこの度のこの状況、そしてこの経験を、これからの人生の中で活かしてくれることを願います。

さて、百二十七名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、皆さんの、りりしいお顔、そして張りのある声、凛とした姿を見ていて、とても嬉しく思いました。

それは皆さんひとり一人の姿に、未来への限りない可能性を強く感じたからです。

ここで、卒業する皆さんに、ことわざ「初心忘るべからず」を贈ります。

皆さんは4月から中学校に進学します。「制服」に身を包み、中学校の門をくぐる時、今までにないすがすがしい気持ちを味わい、新しい生活に大きな期待と目標を持つことでしょう。

「ここで勉強を頑張るぞ」「部活で活躍するんだ」

「自分の夢に向かって努力するぞ」など、その思いが「初心」です。

「初心」は、勇気と希望を膨らませ、そして「道しるべ」となり、皆さんを支えてくれます。

しかし、その思いとは裏腹に、道の途中は、決して楽しいことばかりではありません。誰もが、「うまくいかないこと」「悩んでしまうこと」「辛いこと」はあるでしょう。

でも、その時に、皆さんを助けてくれる「大切な存在」、そして、「大切なこと」があるのです。

その一つが、今皆さんの周りにいる「仲間」「友達」です。大森小学校の仲間はもちろん、加えて中学生になれば新しい仲間にも出会います。

卒業生の皆さんがこの卒業式で歌うために練習していた合唱曲「旅立ちの日に」  
の中に歌われる歌詞

懐かしい友の声 ふとよみがえる

意味もないさかいに 泣いたあの時

心通った嬉しさに 抱き合った日よ

みんな過ぎたけれど 思いで強く抱いて

まさしく、「仲間」「友達」と過ごした毎日は、仲間と一緒にだから「楽しめたこと」「できたこと」「学べたこと」「高め合えたこと」の連続だったことでしょう。

私たち教職員も、励まし合い、支え合って、努力してきた皆さんの姿をたくさん見せてもらいました。

私たち人間は、一人では生きていけません。人と人は支え合いながら生きていて、そのかわりの中で学ぶ経験を力にして成長します。

まさしく仲間の存在は力であり宝物なのです。

2つ目は、今皆さんを見守ってくれているご家族や先生方です。

皆さん、「親」という漢字の成り立ちを知っていますか？

親の漢字は、「木の上に立って見る」と書きます。漢字の由来は様々ですが、「わが子のことが心配で、木の上に立って、子が帰ってくるまで見ている」とも言われます。

親は常に、「我が子の幸せを願い、見守っていたい」という思いは、皆さんが大人になっても決して変わらない深い・深い親の愛情だということを忘れないでください。

そして3つ目は、「思い出」です。

「本気」いっぱい勉強や運動に取り組んだ毎日の学校生活。そして、「本気」で挑戦した様々な大会での頑張りや、声をからして取り組んだ運動会での姿が思い出されます。

「本気」で、がむしゃらに挑戦したあの時、皆さんの心の中には「確かな達成感」が喜びや笑顔と共に沸き起こり、一方では「悔しさや涙と共に」、次に向かうための「しなやかで強い心、そして向上心や意欲を身につけたこと」を確信します。

人間として成長していくために必要な「心」や「力」が「思い出」と共に皆さんの中に育まれています。

どうか、悩んだ時、くじけそうになった時には、大森小学校のスローガン、「元気・本気・笑顔いっぱい」で挑戦したことを思い出してください。

必ずや、勇気と自信がわいてくると思います。

小学校生活6年間、特に最高学年となった今年の皆さんの「自分のためだけでなく、周囲の仲間や下級生のために汗と涙を流し頑張れた姿」は、私たちの自慢であり、誇りです。そして、一人一人がかけがえのない存在、「唯一無二」の存在です。

ぜひ、これから進む中学校においても、人と自分を比べることよりも、「初心」となる目標を大切に、自分を高めていく生き方を目指してください。

「初心忘るべからず」

平成の時代に生まれ、令和の時代、さらに次の時代をも生き抜く皆さんの明るい未来に、心からエールを贈り続けたいと思います。

#### 保護者の皆様

お子さんのご卒業を心からお祝い申し上げます。今、お子様のりりしい姿を見て、その成長ぶりに感慨ひとしおのことと存じます。

保護者の皆さまにおかれましても、これからお子様の成長に比例し、喜びもあれば、親としての心の悩みや葛藤にも出会い、心配事は尽きないと思いますが、一步一步、自立していく子どもたちの姿を見守り、どんな時も正面から向き合って話のできる親子関係を大事にしていきたいと願っています。

これまで、本校の教育活動にお力添えいただきましたことに対しましてもあらためてお礼申し上げます。

ありがとうございました。

結びに、卒業生一人一人の健康と、更なる活躍を心より祈り、令和元年度、卒業生に贈る式辞といたします。

令和二年三月十八日

東根市立大森小学校 校長 土屋常義